

区市町村ヒアリング結果の概要報告

区市町村ヒアリングから見えた 通いの場の課題と支援ニーズ

ヒアリングの概要

調査目的

- 区市町村における通いの場づくりの課題や支援ニーズについて把握すること。

調査時期

- 2021年9月～10月

対象者および調査方法

- 各自治体の介護予防担当者に対しヒアリングを実施した。
- 支援センター職員が記録したヒアリングの結果を基に、通いの場づくりの課題及び支援ニーズをカテゴリー化し、整理した。

行動変容スケールに基づく 一般介護予防事業での住民主体の通いの場の進捗状況

- ・令和3年4月のアンケート及び令和3年9月に実施したヒアリングにより自治体ごとの進捗期を確認した。

進捗期	進捗期定義	自治体数 (内、島しょ部自治体数)
維持期	Ⅳ：通いの場の評価や効果分析を行い、戦略的に展開中	18
実行期	Ⅲ：通いの場の立ち上げに係る取組を具体的に着手	27(1)
準備期	Ⅱ：立ち上げに向けた戦略策定協議や体制づくりなどを準備中	6
関心期	Ⅰ：具体的な取り組みを始めていないが、今年度取り組む予定	3(1)
無関心期	0：注力していない	8(7)

実行期・維持期の自治体の抱える通いの場づくりにおける『課題』

カテゴリー名（度数）
・説明できる記述

【地域診断】

通いの場数等の地域差（３）

- ・通いの場の場所が偏り、手薄な地域がある
- ・交通の便が悪く通いにくい

通いの場把握困難（２）

- ・細かく通いの場を把握できない

地域診断困難（２）

- ・地域診断が十分にできない

【体制・連携】

行政の内部・外部との連携（４）

- ・行政内部で意思統一されていない
- ・他課との連携をどこまで行えば良いかわからない
- ・生活支援Coとの連携

【新規立ち上げ】

プログラム実施の負担・進め方のわからなさ（５）

- ・プログラムをたてるのが大変
- ・教室及びその後の展開をどのように行っていけば良いか
- ・立ち上げの具体的方法が難しい

住民の自主化の意識が低い（５）

- ・自分たちでやるよりも、区の事業に参加したいニーズが高い
- ・住民主体になるまで時間と労力がかかる
- ・住民のやる気が高まらない（通いの場以外に楽しめる場がある）

意欲ある人材発見の困難（２）

- ・活動に意欲ある人を見つけるのが難しい
- ・リーダー的な人物がいない

活動場所の不足（１２）

- ・活動場所が不足・とりあいになる
- ・コロナによってこれまで利用できていた場が利用不可になった

活動資金の問題（５）

- ・補助金支給期間後の問題
- ・会場費や物品購入など

【通いの場の継続】

後継者問題（１０）

- ・次の担い手になる人がいない、養成できていない
- ・メンバーの入れ替わりがない
- ・活動したい人と既存グループのマッチングができていない

活動継続の方法（３）

- ・活動継続のための支援が必要
- ・モチベーションの維持

【Covid-19】

コロナ禍における活動再開（６）

- ・活動再開のための支援が必要
- ・再開に前向きになれない人もいる

活動継続の方法（２）

- ・コロナ禍による教室運営
- ・既存の通いの場をコロナ禍でどう維持するのか

立ち上げ支援の停滞（２）

- ・コロナによって立ち上げ支援が停滞している

維持期の自治体における通いの場づくりが『うまくいっている要因』

カテゴリー名（度数）
・説明できる記述

【体制・連携】

関係機関の力・連携体制（４）

- ・行政と包括が連携体制構築できている
- ・関係機関が連携するような仕組みにして、市だけで住民を支えるという構図にしていないこと

住民主体の徹底（２）

- ・住民主体ということを徹底していること
- ・自立に向けた働きかけを視野にいれつつ年間の支援計画を立てている

その他

- ・広報がうまくいっている
- ・サポートが充実している
- ・立ち上げまでをパッケージ化
- ・フォローアップの充実

【新規立ち上げ・通いの場の継続】

住民に意欲・力がある（３）

- ・住民にもともと力がある
- ・住民の自主的にやろうという気持ちが強い

活動場所の確保（２）

- ・場所が確保しやすい
- ・場所の確保を行政が行っている

リーダーに意欲・力がある（３）

- ・リーダーが面倒見が良い
- ・リーダー側が積極的

その他

- ・参加者が運動の効果を実感できている

環境的要因

その他

- ・団体が制度をうまく活用

人的要因

住民のやるを引き出す支援を実践し、
住民の力をうまく活用して通いの場づくりを進めている

実行期・維持期における支援センターへの支援ニーズ

カテゴリー名（度数）

・説明できる記述

【全般】

他自治体の事例・情報を知りたい（17）

- ・他自治体の取組などに関する情報提供
- ・実際に行っている自治体の情報を知りたい
- ※事例としては、KDB活用、立ち上げ、障がい者、オンラインなど多岐にわたる

その他

- ・サークルの作り方、フレイル予防といった職員向けのガイドブックやスタートブック

情報提供（9）

- ・運営資金や運営に関する情報提供
- ・コロナ禍での取り組みに関するエビデンスに基づくデータの情報提供
- ・専門職の派遣調整を依頼できる機関紹介
- ・他自治体でのリハ職との連携について情報がほしい
- ・介護予防活動を行うと保険料が下がるといったデータなどがあれば情報がほしい
- ・リーダーが新しい情報を欲しているの、それに対応できる情報

【相談関係】

相談および助言（3）

- ・PDCAを回すときの助言
- ・教室再開後、改めて相談にのってほしい

伴走型支援（2）

- ・センター職員の来訪頻度を増やしてほしい
- ・リスク評価と対策について一緒に考えてほしい

その他

- ・包括などを対象とした勉強会の実施
- ・情報交換の機会
- ・引き続きの支援
- ・地域ケア会議への専門職派遣
- ・リーダーのスキルアップのための派遣
- ・リハ職への支援

【評価関係】

評価方法（4）

- ・一般介護予防事業の評価方法
- ・通いの場の評価
- ・通いの場参加者の把握方法

その他

- ・ヒアリングへのフィードバック
- ・通いの場の効果検証に関する支援

【研修関係】

研修についての意見（3） ※カテゴリーとしてのまとまりではない。

- ・引き続きの研修実施
- ・研修は、you tubeでの配信で1カ月くらいの期間があるとありがたい

その他

- ・費用対効果について内部説明できる資料作成方法を知りたい
- ・場所取りや自治体とのやりとりでうまくやる方法を知りたい
- ※やり方（方法）を知りたいというニーズは情報提供でなく研修に割り振った